

ジョブカフェ通信

令和6年度
第2号
令和7年1月発行



つい最近、視点を変えると今までとは別のものが見えてくるという経験をしました。

「年収の壁」の見直しです。新聞やTVニュースで取り上げられ、関心を持って見た人も多いことでしょう。

岡山県の場合、年収103万円の見直しで県税収入は約200億円の減少になるということです。伊原木知事は「社会全体として大きな損失だと思っている。」と制度の見直しに理解を示す一方、国に対して減収にならないよう、対応を求めたということでした。「どういうふうにすれば、働きたい人が働いて、世の中がよりうまく回っていくのか、税制が減るのであれば、どのように補てんしていくのかも含めて議論してもらいたい。」と見解を述べていらっしゃいました。

私は、たとえば、自分の収入増のことは考えても県の税収入までは考えてみたことはありません。2024年度の岡山県の一般会計当初予算案の少子化対策額（199億円）と近い数字です。「これは大変なことだー！」となりました。

スティーブン・R. コヴィーの『7つの習慣』という大ヒット本を思い浮かべました。興味がある方は読んでみてください。（M.H.）



寒い冬、お茶が美味しい季節です。

お茶のなかでも煎茶は、文人が書斎でひとりで入れて、ひとりで味わったことから始まった文化です。自分と向き合い、自分を見つめる時間。

現代でいう、「自己理解」の時間だったのではと思います。

「自己理解」は、キャリア選択の最初の一步。

志望動機・自己PRが書けない。面接が苦手。

悩んだときには、ジョブカフェおかやまに相談してください。

自分にどんな能力・興味・価値観があるのか、自分自身を知ること、

就職活動への自信に繋がります。一緒に見つけていきましょう。（M・K）

元プロ野球監督野村克也さんの言葉で「心配とは、行動の不足から起こるものである。」行動することなく、くよくよと心配している暇があったら何か行動した方が良い、ということをお伝えしようとした言葉です。

何か物事に行き詰り悩んだりすると、「どうしよう、何をしたらいいのだろう」と、行動する前に、いろいろと考え込んでしまいませんか。行動量が少なくなり考えすぎてしまうと、さらに余計なことまで心配になってきてしまいます。

そんな時には、どんなことでも良いから動いて、行動量をするとう何か見えてくるのがあるかもしれません。

ジョブカフェでは就職について相談できます。悩んでいる方々、まず行動してみませんか。（M・I）

